

●竹蛇籠 14 日間で 105 人の参加で長さ 2.5mものを 74 本製作

2 月 26・27 日までに 2 本をドッキングして完成品 36 本 中聖牛を 4 基完成予定 精華町

今年の中聖牛をどの場所に設置するかが決まらずに、竹の切り出す時期をむかえました。これまでと同じ場所で、とかあるいは流域センターで製作すればなど、意見が分かれていました。しかしこれまで問題なく製作してきたところが最適だろうとなつて、従来通り玉水橋の東詰めの広場で行うことになりました。ところがカルゲート部分は府道の枚方井手線なので京都府の管理であつて、取付け部分は国交省になるとのことで、これまでカルゲートは国交省の管理と理解して自由に使用してきましたが、そうではなかったのです。それで京都府に一時使用申請の許可を届け出ました。なれない申請届を提出し、使用許可をいただきました。そして 10 月 31 日に予定の 72 本の竹蛇籠を全部作り上げました。そして翌 11 月 1 日は出来上がった竹蛇籠 74 本分を、中聖牛設置予定の 2 月 26 日まで安全に保存管理できる木津川流域センターに運搬移動し、竹割機などの諸道具も使用現場から撤去移動しておきました。ところが 11 月 2 日の朝早く、製作しようとして使っていた現場近くで心肺蘇生しなければならない人が発見されて、警察官や消防職員が数人集まったということがありました。しかし前日に 72 本の大量の竹蛇籠を移動しておいたので、不幸中の幸いで、うまく難を逃れることができました。運搬対処が遅れていたらいろいろ不都合があつたかもしれないと考えると、本当にグッドタイミングの対応であつたと思います。又管理が京都府であつたことが明白になって借用の対応も正確にしておいたのでよかったと思います。



●11 月 3 日の午後から竹蛇籠製作場所の後片付けに

思いもよらないことが引き起こされて、事務局会議の出席者が驚きました。それで急遽残されている余った竹 30 本ほどと会場に残されている小物類の始末の片づけをして使い始めた時よりも美しくしておこうと、出席者の皆さん方でしっかりかたづけいただきました。残った竹は長さが 7m もあるので短く切って、里山農園に運びました。また竹が必要で使ってみようとお考えの方がいましたら、森島さんまで電話下さい。使っていただければありがたいです。

●京の川の恵みを活かす会の味見会に 5 名が参加 10 月 31 日

鴨川漁協の方々や、川で活躍している現職の皆さん、水に関わって研究しておられる学者の皆さんなど多くの方々と交流を深めることができました。そして得意の腕前を発揮して、各地の河川の天然アユを捕獲して焼いて食べる体験が堪能できるほど提供していただきました。そして琵琶湖のビワマスを刺身にしてふるまっていただきました。それは 50 cm を超える立派なものです。これは水深 40m 以上の深いところにいるもので、捕獲がかなり難しい大きなビワマスであつたとのことでした。

た。出席者は70人を超える盛況な取り組みでした。

会場の京都市の日野野外活動センターは立派な大屋根がある大きな施設であり、かまどは7～8個用意されていて、キャンプ地的な野球が練習できるグラウンドを備えたところで集落からは細い山道をかなり登らなければならないところでした。この日のアユ焼き用の火力として、里山の会が生産した「木炭」を30kg購入していただき、使っていただきました。火力がかなり強くしっかりした「木炭」として評判が良かったです。全体として購入量が少なくて、終わりのころには木炭が足りない状況になりました。



●会誌 51 号を 結成 25 周年記念号として発行予定

主な掲載内容は以下の通りです。皆様の御意見をお待ちしています。

重大ニュース総覧。里山の会紹介チラシ（第1号）。

国交省淀川河川事務所木津川出張所長への申し入れ書。

SDGs17項目（全項目）。活動紹介（里山の会本フレット）。定款。年間行事表。25年の主な成果。

役員名簿。京の川の恵みを活かす会フォーラム 発表原稿。25周年活動紹介記念誌・挨拶祝辞。

やましろ里山の会講演会講師一覧表。全会誌の巻頭の言葉集約。2019年度理事名簿。2019年度社員名簿。オオムラサキ生育調査観察結果表。

里山農園の運営について（これまでとこれから）。

里山の会の25年の歩み（年間活動日誌）が内容としてまとめました。

不必要とのご意見やこれは記載すべきという提起があればお伺いいたします。発行期日を変更してでもご要望にはお答えしたいと思いますのでよろしくお願いします。里山の会に出来上がった見本がありますので、ご覧になってご意見をお願いします。又原稿を送れという方にはその項目をメールでお送り出来ますのでご連絡ください。お待ちしております。

●里山の会の活動をさらに充実し楽しく魅力ある活動にして「自然を大切にする仲間の輪を大きくする」積極的な提案をお待ちしています。年間各月を代表的な名称（わかりやすく参加したくなる）のつけることなどの提案をお願いします。たとえば8月を「親子で楽しく魚とりの月」などと命名する提案を参考にしてご意見をお願いします。